

夏の交通事故防止について ゆとりのある運転で交通事故防止を！

広報

将監



夏の交通事故防止について

昨年6月中は、30度を超える真夏のような日もあり、気温が高い日が続きました。強い日差しと暑さが体力を奪うため、運転中の疲れが溜まりやすく、居眠りやぼんやり運転などが原因ではみ出し事故の発生が多くなる傾向があることから、気温が高くなるこれからの季節は注意が必要です！

ドライバーのみなさんは…

- ◆ ドライブや旅行は、余裕のある計画を立てましょう。
- ◆ 暑さは疲労につながり、事故のリスクを高めます。
- ◆ 早めの休憩と十分な休養を！



ライダーのみなさんは…

- ◆ 体調不良時は、ツーリングを控えることも検討！
- ◆ 定期的に休憩し体調管理の徹底を！
- ◆ ヘルメット、プロテクターを着用して 安全を優先した運転をしましょう。

歩行者のみなさんは…

- ◆ 道路の横断は、横断歩道を利用しましょう。
- ◆ 夜間の外出は、明るい色の服装で反射材を身に付けましょう。
- ◆ 道路への飛出しはやめましょう。



防災意識の高揚 防災は日頃の備えと心掛け

6月12日は「みやぎ県民防災の日」です。

県内では、東日本大震災をはじめとする大規模地震が発生したほか、台風や局地的大雨により土砂崩れ、倒木や河川の氾濫などの被害が発生しています。

災害は、いつ起きるか分かりません。今後も起こりうる災害に対し、日頃の備えと心掛けで、大切な命を守りましょう。

命を守る行動を最優先に！

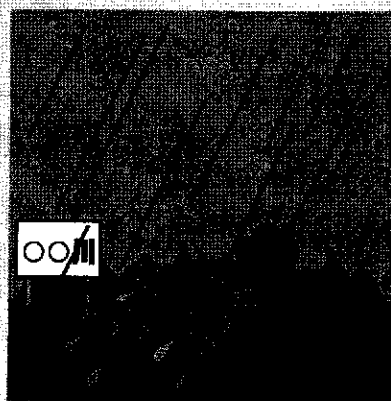
- 地震が発生したら、津波や土砂崩れが起こる可能性があるので、海岸、河口、崖等の危険な場所には絶対に近づかないでください。
- 自治体が指定する避難場所等の安全な場所に避難するなど、命を守るための行動をとってください。
- テレビやラジオから自治体等が発信する正確な情報を入手しましょう。

避難場所などの事前確認を！

- いざ災害が起きた時にあわてず避難するためにも、避難場所、避難経路を事前に確認しておきましょう。
- 日頃から、家族で災害時の安否確認の方法や集合場所を話し合うのも有効です。

避難の準備を！

- 電気、ガス、水道等のライフラインが止まった場合に備えて、普段から飲料水や保存の効く食料等を非常時用のリュックサックに詰めておき、いつでもすぐに持ち出せるようにしておきましょう。



最低3日分
は必要だ。

